



# TRAFFIC ADVICE

〔茂木町立逆川中学校・交通安全教室〕

★交通教育センターから

## KYTを活用して通学路に潜む危険を 生徒自身に気づいてもらう

5月26日、茂木町立逆川中学校(栃木県芳賀郡茂木町)の交通安全教室がアクティブセーフティトレーニングパークもてぎで開催された。参加したのは同校の中学1年生19人。交通安全教室は、午後1時40分から3時30分まで行われ、前半はトレーニングコースでクルマの死角やクルマがブレーキをかけてから止まるまでの速度による停止距離の違いを確認した。



クルマを囲む生徒のうち、運転席から見える生徒には座ってもらうことで、クルマの死角を確認

後半は教室で危険予測トレーニング(KYT)。「通学時に自転車を利用している生徒が多いため、KYTによって通学路を走行する時の危険を生徒自身に気づいてもらうことがねらいです」と、同校の杉本丘人教諭は話す。アクティブセーフティトレーニングパークもてぎでは、生徒たちが身近な問題として考えられるように、インストラクターたちが同校の通学路で撮影を行い、その写真をKYTの交通場面として用意したという。まず、インストラクターが「危



自分たちが普段利用している通学路を走る自転車の写真を見ながら、そこにどのような危険があるか生徒たちが討議し、発表する

険なのにそう感じない人はその危険に近づいて、怖い思いや痛い思いをしてしまう可能性がります。KYTはある場面を見た時に、そこに潜んでいる危険に気づく能力を養うためのものです」とKYTの目的を説明する。

### NEWS REVIEW

●(社)東京指定自動車教習所協会・受付対応コンテスト  
安全運転を伝える教習所が  
安心・信頼を築く接客をめざす



ロールプレイングコンテストの様相

6月25日は、『指定自動車教習所の日』。この日に関連して、(社)東京指定自動車教習所協会教場にて「第1回 受付対応コンテスト」が開催された。この催しは、東京指定自動車教習所の受付職員の接客意識向上を図るとともに、一般社会に対して安心と信頼を築くことを目的としており、第1部「自己診断筆記テスト」、第2部「ロールプレイングコンテスト」で構成される。第1部は、加盟教習所から該当職員420名が参加し事前に実施された。25日に実施された第2部には、第1部の平均点が高い上位10校から、代表者各1名が出演。お客様役を相手に「普通自動車免許取得の入所問い合わせ時の対応」の模擬演技(ロールプレイング)を行い、業界内外の有識者6名で構成される審査委員が「マナー」「知識」「ニーズの把握」「対応力」の4項目に基づいて審査した。優勝は、東急自動車学校の松原佳奈さん。松原さんは、「受付業務は、安全を伝える指導員とお客様との橋渡し役。今後も心を込めて接客をしたい」と感想を語った。



主催者を代表し挨拶を行う武士裕三・(社)東京指定自動車教習所協会会長



実車を使って、インストラクターがクルマの停止距離について説明



●Honda Cars 静岡西 エンジョイ!! モビリティワールド

## 販売会社からお客様の家族へ。 交通安全知識を身につけるイベント



親子でバイクを楽しむ「ちびっ子バイク教室」

5月25日、交通教育センターインボー浜名湖にてホンダカーズ静岡西「エンジョイ!! モビリティワールド」が開催された。このイベントは、静岡県内に16店舗を構える四輪販売会社のホンダカーズ静岡西が、お客様やその家族を招待し、交通安全に役立てていただくために開催しているもので、今回が5回目。会場には、クルマの特性や交通安全について学べる18のコーナーが設けられ、親子連れなど600人を超えるお客様で賑わった。



滑りやすい路面でクルマの急ブレーキや急ハンドルの走行を体験

親子連れに特に人気だったのは「ちびっ子バイク教室」のコーナー。自転車に乗れる小学生とその親が対象で、親子で一緒にバイクを楽しんだ。体験した松浦賢さん親子は「バイクに乗るのを子どもはすごく楽しみにしていました。も興味を持ってエアバッグの展開を見ました。シートベルトの重要性についても子どもと一緒に学べるので、子どもたちが安全意識を持つ良い機会になりました」と語った。

また、クルマの免許を持つ方を対象とした、危険を安全に体験していただくコーナーも充実。「低μ路でのABS体験会」では、お客様が滑りやすい路面でクルマの急ブレーキや急ハンドルの走行を体験



「エアバッグ展開体験」では、シートベルトの重要性も訴えた

急ブレーキや急ハンドルを体験。「反応ブレーキ体験会」では、危険を感じてから急ブレーキを踏み、何メートルでクルマが止まるかを測定し、交通安全センターのインストラクターから車間距離を十分にとるようといった安全アドバイスを受けた。

さらに、楽しみながら自分の運転技術をチェックできるコーナーも会場に設けられた。パイロンで作られた袋小路コースから何秒で脱出できるかを計る「袋のねずみ・緊急脱出せよ!」や、S字クランクなどの狭いコースで自分の車両感覚をチェックする「車幅感覚を研ぎ澄ませ!」では、家族や友達の声援を受けながら、真剣に自分の運転技術を試す姿が見られた。体験した石井千亜紀さんは「自分の運転を振り返るいい機会になりました。販売店が安全運転を学べるイベントを企画してくれ」と、とても助かります」と感想を語った。



車両感覚をチェックするコーナーでは、販売会社スタッフが声援を送る



交通安全について学べるコーナーが充実

ホンダカーズ静岡西の湯野伸一・CS販売部部長は、「お客様により安全に、より快適に、安心してクルマにお乗りいただくため、このイベントを開催しています。実際にお客様にいろいろ体験していただくながら、安全知識を身につけてもらえるように内容を工夫しています。このイベントが、お客様の日頃の交通安全にすこしでも役立ってくればうれしい」と語る。ホンダカーズ静岡西では、秋にもお客様向けに第6回目の「エンジョイ!! モビリティワールド」を開催する予定である。